

平成28年度の事業実施概要

○平成28年

- 10月～11月 「次世代火山研究推進事業」及び「火山研究人材育成コンソーシアム構築事業」事業開始
- 11月7日～8日 人材育成運営委員会（火山研究人材育成コンソーシアム構築事業）開催
- 11月21日 火山研究運営委員会（次世代火山研究推進事業）開催
- 11月29日 「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト総合協議会（第1回）」開催

○平成29年

- 1月27日 「次世代火山研究推進事業」研究集会 開催
- 2月11日 次世代火山研究者育成プログラム開校式
- 2月15日 次世代火山研究・人材育成総合フォーラム（第1回）開催（参加人数約200名）
- 2月27日 評価会開催（課題Eの評価。その他の事業はフォローアップ）
- 3月12日 霧島山でフィールド実習（～17日）（地質・岩石、地球物理のフィールド実習）

次世代火山研究者育成プログラム開校式（2/11）

火山研究者育成コンソーシアムは、「次世代火山研究者育成プログラム」の開校式を開催。

2016年度のプログラム
受講生は10大学36名で
基礎コース終了後に全員
応用コースに進む構成。
各コース1年を予定。



次世代火山研究・人材育成総合フォーラム（2/15）

約200名の参加のもと、火山噴火予知・対策推進議員連盟会長の古屋圭司議員による来賓者挨拶の後、日本防災産業会議の相澤益男会長による基調講演、パネルディスカッションなどが行われた。



次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト各事業の進捗状況

平成28年度の各事業実施概要

◎次世代火山研究推進事業

- ▶ 主に必要な機器の整備やサーバー導入などの環境整備を実施
- ▶ 一部の課題で、観測や技術開発を実施

◎火山研究人材育成コンソーシアム構築事業

- ▶ 受講生の募集と決定
- ▶ 教育プログラムの策定

受講生36名の内訳

- 男性23名、女性13名
(4年生:15名、M1:11名、M2:5名、D1:5名)
- 北海道大学 6名、東北大学 8名、
山形大学 2名、東京大学 6名、
東京工業大学 1名、名古屋大学 3名、
京都大学 3名、九州大学 4名、神戸大学 2名、
鹿児島大学 1名。

教育プログラム（受講生が履修する授業科目）の内容

- コンソーシアム参加機関で開講されている修士課程の学生対象の授業科目（地球物理学、地質・岩石学、地球化学等）
- コンソーシアム等が開講する授業科目（火山学実習、火山学セミナー）
- インターンシップ（国や自治体、民間企業、研究開発法人等。応用コースの学生を対象）
- 学会発表（学会において筆頭著者として発表。応用コースの学生を対象）

※授業は、集中講義を実施するとともに、Web会議システムを活用して、大学院の講義及び火山学セミナーの一部を提供。

※受講科目を単位化し、一定の要件を満たした受講生に修了証を発行。

※受講生が他の大学の授業を履修した際の所属大学での単位認定については、対応可能な大学から順次導入予定。

※カリキュラムは人材育成運営委員会で検討。火山分野を学べるテキストを現在作成中。

霧島山フィールド実習（3/12～17）

受講生36名のうち21名が参加。地球物理学を専門とする学生は火山地質・岩石学の実習。地質・岩石学を専門とする学生は測量実習を実施。毎日レポート作成のほか、最終日には発表会を実施。



火山地質・岩石学の实習風景



火山地質・岩石学の实習風景



火山地質図の作成実習風景